



玉川の風

学校、家庭、地域をつなぐ
学校だより 第3号
令和5年7月18日



未来の創り手となる心豊かで意欲と実践力のある人間の育成 ～ 自律・友愛・創造 ～

文責 奥村真美

「琵琶湖の魅力って どんなところ？」

～ 水上アクティビティに挑戦した1年生 ～

7月11日(火)、大津市雄琴にある^{オーバル}O'PALへ出かけて1年生が琵琶湖の色や匂いを感じながらカヌーとドラゴンボートに挑戦しました。



カヌーでは「この風を受けながら行きたい方向に進むために、パドルをどう動かせばよいのか。」「友だちのカヌーに当たらないように、どれくらいのスピードで進めばよいのか。」など、自分で考えて試しました。



また、カヌーの準備や後始末は、友だちとの協力なくしてはできませんでした。「一緒に運ぼう。」と、勇気を出して、いつもになく大きな声で呼びかけ合っていました。まんまとたえた琵琶湖の水を目の当たりにしたからこそその姿だったように見えました。琵琶湖での学びは、これからの学校生活に活かされるものとなりました。



ドラゴンボートでは、「どうすれば全員が揃って漕げるか。」「みんな、前しか見えないけれど、何に合わそうか。」と船上で

意見を交わして知恵を絞りました。お陰で学級対抗レースではチーム力も高まり、湖上を滑るようにボートが進む喜びをみんなが味わいました。





「働く意味って何だろう？」

《2年生が体験から感じ、考えたこと》

- 社会は学校と違うと感じました。日頃の「挨拶」「協力する気持ち」「周囲への気遣い」をもっと大事にしようと思います。
- 経験のないことに勇気を出して挑戦して、自分の力を発見することができました。もっと幅を広げたいと思います。
- 仕事は責任があり、辛いこともあるとわかりました。家族や働いている人への感謝の気持ちが深まりました。
- 働くために、自分に合っている仕事を見つける事が大事だと思います。これから自分の進路をしっかり考えたいです。

